

記者発表（配付）資料

平成 22 年 12 月 15 日

所属部課	館 長	副 館 長	庶務係長	担 当	連絡先
総合政策部 萩博物館	高木正熙	樋口尚樹	植村 正	伊藤靖子	25-6447

件 名	年中無休！年末年始を萩博物館で
-----	-----------------

萩博物館は、自治体直営館としては、全国でもまれな年中無休で開館している博物館です。年末年始も特定非営利活動法人NPO萩まちじゅう博物館と協働で開館し、皆様のご来館をお待ちしています。

◆特別公開「高杉家ゆかりの雛人形」

藩主毛利家から拝領した、高杉家ゆかりの雛人形が萩に里帰りしました。2年の期限付きで、東京在住の高杉家から借用したものです。高杉晋作も3人の妹とともにひな祭りをしていたのでしょうか。

と き 12月29日（水）午前9時～（4月3日まで展示）

ところ 萩博物館高杉晋作資料室



※ 高杉家伝来の雛人形 （高杉春正氏蔵）

高杉晋作が生まれた、長州藩士高杉家の子孫宅に伝わる雛人形。道具には藩主毛利家の裏紋が入っているので拝領品と考えられるが、拝領した時期などについては不詳。高杉家は藩主側近を何人も輩出した名門で、それが晋作の大きな誇りだった。晋作には3人の妹があったから、ひな祭りの季節には高杉家は華やかな雰囲気にも包まれていただろう。

これは江戸時代初期、京都の雛屋次郎左衛門が作り出した「次郎左衛門雛」と呼ばれるスタイル。天明(1781－8)ころの川柳に「きめのいい団子に目鼻次郎左衛門」と詠われた、まん丸に近い顔に引目鉤鼻の面相が特徴だ。江戸時代は上級武家の雛人形の正当派として愛された。次郎左衛門の名は襲名され、13代まで続き、昭和になり途絶えた。

◆正月飾り・飾りつけ

萩博物館所蔵の萩藩主ゆかりの三方^{さんぽう}を使って正月飾りをし、来年の干支「卯」の大型パネルが出迎えます。

と き 12月29日（水）午前9時～（1月10日まで展示）

ところ 萩博物館エントランスホール

※ 沢瀉紋入三方^{おもだかさんぽう}

萩藩士乃美^{ののみ}氏が藩主毛利氏から拝領した三方。「沢瀉紋」は、「一に三つ星紋」とともに毛利氏の家紋。隣の「菊花紋」は、毛利氏が朝廷から拝領した家紋。

※ 雲谷派絵師の「卯図」

雲谷派は雪舟の画法を受け継いだ萩藩のお抱え絵師で、江戸時代中期の1700年代前半に制作された屏風画のうちの卯図。屏風は六曲一双で、一扇ごとに十二支の動物が描かれている。

◆企画展開催中

なつかしい日本のふるさと・萩～1930年代の映像・絵画から～（4月10日まで展示）

「なつかしい日本のふるさと」と形容される萩の「まち」の、「なつかしさ」や「心のやすらぎ」の源といえるものを、観光立市をめざし始めた1930年代頃の映像や絵画で振り返ります。

◆NPO萩まちじゅう博物館学芸サポート・古写真班活動展示および交流会

学芸サポート・古写真班が、『角川政治・宮本常一写真展「生活のあかし」展示』をエントランスホールで開催します。市民の方、帰省された方々にも楽しんでいただける内容です。あわせて写真を元に参加者同士の情報を語りあう交流会も開催します。

【展示会】

と き 12月24日（金）午前9時～（1月11日まで展示）

ところ 萩博物館エントランスホール

【交流会】

と き 12月25日（土）午後1時30分～3時30分

1月 8日（土）午後0時40分～3時50分

ところ 萩博物館エントランスホール

◆萩博物館ミュージアムショップ・レストラン新春イベント

正月元旦から3日間、ショップでは2000円以上お買い上げの方に、うさぎの干支ふきんをプレゼント（毎日30人限定）、レストランでは、食事をされた方にコーヒーまたはぜんざいを無料サービスします。

■開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休館日 なし ※年末年始も休まず開館

■観覧料 大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円、団体割引20人以上20%引、障がい者割引20%引